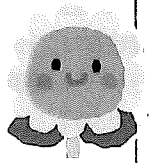


大阪市保連 資料集



2023年6月25日

大阪市保育運動連絡会ニュース



大阪市保育運動連絡会
第35回総会 発言集

大阪市中央区谷町7丁目2-2-202
TEL06-6763-4381 FAX06-6763-3593
2022、8月発行

「親も保育者も園も、子どもにとっていい保育がしたい」

「積極的平和」を求めて行動しよう！

共感の輪が広がった総会



7月3日(日)大阪市保育運動連絡会第35回総会を、会場(オンライン)併用で開催しました。会場には9名、オンラインでは30名、合計約40名の方が、集まりました。

今年には弁護士の遠地靖志先生を講師に招き「平和と子どもの権利」というテーマで学習会をしました。活動報告で交流をし、今年の運動方針を話し合い、新しい役員も選出しました。

遠地先生のお話

西淀川区にお住まいで3歳4か月の保育園児のお父さんです。

お話のテーマは「平和と子どもの権利」

はじめに「あなたにとって子どもはどんな存在ですか？」との問いかけからお話が始まりました。

子どもたちを権利の主体者として認めること。「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの原則に沿って子どもの権利を保障しなくてはならない。しかし今、子どもの権利は危機に瀕している。

6月20日(日)「世界難民の日」。避難を余儀なくされた子どもは3650万人。この数字はウクライナの子どもの数は含まれていない。ウクライナでは子どもの命や権利が危機に瀕している。3分の2の子どもたちが国外や国内で避難生活をしている状況。

平和について考える。「消極的平和」は戦争のない状況であり、「積極的平和」は戦争の原因となる構造的暴力がない状態をいう。積極的平和を求めて行動しよう。

日本国憲法前文は「平和に生きる権利」をうたっている。「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」…改めて「憲法」の大切さを学びました。

世界的な危機では個人のがんばりでは

どうにもならない



21年度もコロナ感染は全く落ち着かず、園での陽性者発生の連絡は次々と入りました。子どもを感染させたくない不安と、今しかない子どもの時をもっと伸び伸びと色々な経験をさせてあげたい気持ちとの葛藤が続きました。今年もプールが水遊びに変更となり、その事を住吉保育連の役員会で話しました。そして先生方からも「本当はもっと一緒に遊びたいけど今は密にならないように注意することが多い」という現場の状況も聞かせてもらいました。保護者仲間や保育者と話すことで考えの整理ができ、本当は親も保育士も園も、もっと子どもたちにとっていい保育をしたいと思っているけど、それができない状況が分かりました。「ちいさいなかま」を讀んだり、保育士さんと話す中で、保育施設の面積基準や保育士の配置基準がいかに危機に対応できていないかが分かり、昨年の秋の保育改善の署名にも力が入りました。

署名集めは、コロナで人と会えない難しさを実感しましたが、住吉保育連加盟外の住吉区内の園37か所に送った署名用紙から100筆の署名が返ってくる嬉しい出来事もありました。「誰でも子どもたちにとっていい環境を与えてあげたい」という思いを共有したことで、行動に移ることができた経験でした。新型コロナウイルス感染症という世界的な危機の中で、子ども達の命と成長を守り育ていくためには、一つの園や個人の頑張りでではどうにもなりません。行政に大きく働いてもらわないといけない問題だと実感しています。行政に働きかける活動は園と保護者が一緒にできる活動でさらに協力していかないといけないと思っています。一緒に頑張っていきたいと思います。

住吉区 遠里小野保育園 保護者 海道 智紀



実地監査継続を求める「声」に、

保護者とともにとりくむ

実地監査の継続を求める「声」を私の園では、保護者にどうやって働きかけたらいいかを考えました。「実地監査とはどういう事なのか」「実地監査がなくなるとどうなるのか」などを分かりやすく説明した文章とともに、例文などを載せて保護者一人ひとりのレターボックスに手紙を入れました。そして園の玄関に回収のカゴを用意して集めました。そうすると、保護者の方から 24 数の実地監査を求める「声」が集まりました。保育者の呼びかけに保護者が応えてくれ、実地監査の必要性を保護者とともに考えるきっかけになったことがとてもうれしかったです。

淀川区 つくしんぼ保育園 保育士 山本 有架

保育園では平和について

子どもと一緒に学んでいます

ウクライナとロシアの戦争が始まり、初めは「日本がどうにかなるわけでもないし…」の気持ちが大きかったです。どんどん状況が悪化する中、子どもたちが「先生、ロシアとウクライナ戦争してるやんなー」と声が上がってきました。でも私はそれを子どもたちとどう話したらいいのかわかりませんでした。そこで長谷川義史さんの「平和ってすてきだね」の絵本を読みました。すると子どもたちは「みんな仲よくしたらいいのにな〜」「嫌な事はやめて！って口で言ったらいいのに」と自分たちの生活と重ねて話し、今では「平和ってみんながいるからやんな」「平和って友だちやお父さん・お母さんと一緒に遊んでるとき。たのしい事やな」といつも話します。私自身もまだまだ学びは足りませんが、子どもや職場のなかまと一緒に深めていきたいです。

西淀川区 みどり保育園 保育士 糸賀由紀子

地域の現状や声を直接伝える区懇談

西淀川保育連では、少しでも子育てしやすい街にしていくために、区に要望書を提出して区懇談を続けています。要望書を作成するにあたり、加盟団体の保育と学童保育でアンケートを集め要望書を作っています。区との懇談会では、保育現場や保護者の声を直接伝え、疑問等を話、答えてもらっています。今年はコロナの感染拡大があり参加してもらえませんでした。いつもは区選出の議員さんに参加してもらっています。国土交通省などにも働きかけて、通学通園路の交通安全のためにガードレールや階段、道路の白線などの補修などの成果もあり、地域で困っていることを伝えることも大事だと感じています。

西淀川保育運動連絡会

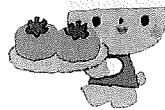
『公立保育所がセーフティーネットとしての役割を果たせるよう』陳情書を提出

市町村は児童福祉第 24 条第 1 項に基づく保育の実施責任があります。公立保育所の職員は公務員であり地域住民の奉仕者という使命があり、セーフティーネットとしての役割も担っています。公立保育所の数が減らされる中、その役割を果たすことが困難になってきていることから 2 月議会に向けて陳情書を提出しました。提出に向けて、維新、公明、自民、自民くらし、共産の全会派の市会議員と懇談をおこない、市議会教育子ども委員会の中でも取り上げられ継続審議となりました。

私たちは、自治体労働者として、公立保育所の体制の強化とさらなる充実を引き続き求めていきます。

大阪市役所労働組合福祉保育支部

総会に参加しての感想



平和な社会で生きる権利を学びました

学習会で、「子どもには平和に生きる権利がある」と話されていた遠地さんの言葉から、子どもの権利条約や日本国憲法に立ち返り、私たちが平和のうちに生存する、ということが権利として認められていることに改めて気づくことができました。世界で起きていることに関心を向け、広い視野を持つこと。自分にできることをステップアップさせていくことを目標に、ふだん（普段・不断）の努力を決意しました。

城東区 すみれ保育園
保育士 岡井 千恵

ウクライナの現状に衝撃

ウクライナの避難先で過酷さの中で生活している現状を聞き衝撃でした。「子どもの権利条約」を絵にして分かりやすく載せてあったので私の子どもに見せました。子ども達が「生まれてきて良かった」と生きていけるように私も一歩ふみ出し行動して行こうと思いました。

中央区 あゆみ東保育園
保育士 南中 由佳

ウクライナの子どもの状況に胸が痛みました

平和と子どもの権利についての学習が印象に残りました。世界の子どもたちの中で 2/3 が避難生活を送っているという事に衝撃を覚えました。恐怖に怯えながら国内や国境を超えて避難している事実、胸が痛みました。大人が力を合わせて子どもたちを守っていける平和な社会を作っていくことが大切だと感じました。

浪速区 浪速さくら保育園
保育士 田中 由紀

創意と工夫でがんばりましょう！

悩みながらもみんなで成功させた署名行動、行政への要望提出や議員要請行動など、市保連の総会議案や総会での発言を通じ、行政や世論に訴えることの大切さを改めて確認できました。創意と工夫でこれからも運動を継続しなければと決意を新たにしました。

保育環境の改善にむけともに頑張りましょう

全国福祉保育労働組合大阪地方本部大阪市内支部

金田 聖子

大阪市保育運動連絡会ニュース

大阪市中央区谷町7丁目2-2-202

大阪市保育運動連絡会

TEL06-6763-4381 FAX06-6763-3593

2022年12月発行

大阪市全体の
署名目標は
10万筆



署名を集め、ひろげる活動が 平和で子どもたち一人ひとりが大切にされる 社会の実現につながる！



10・20 秋の大運動大阪市スタート集会

自治体（大阪府・大阪市）の
役割りは『住民の福祉の増進』
させること！

10月20日（木）大阪市、秋の署名大運動、保
育&学童スタート学習集会をしました。現地とり
モートで約50人の参加でした。

大阪自治労連の仁木 蔭さんのお話を聞きました。
「平和な社会」を目指すことが原動力というお話
から始まりました。自治体の役割とは「地方公共団
体は、『住民の福祉の増進』を基本として、地域に
おける行政を自主的かつ総合的に実施する役割を
広く担うものとする」日本国憲法第8章「地方自治」
で、法律で定められています。①「住民自治」、地
方自治が住民の意思に基づいて行われるという事。
②「団体自治」、地方自治が国から独立した団体に
ゆだねられているという事。

現場まかせの

大阪市のコロナ対策

3年目となるコロナ禍、第7波までひろがった
コロナ感染に対して、大阪府は検証や改善策を持
たず、保育現場の努力だけで保育を継続させてい
ます。大阪市のコロナ対策は、大阪府まかせで、独
自施策はほとんどしていませんが、残念ながら大
阪府も保健師数ワースト2位で、死者数がとび抜
けて多いです。また、今の市民生活をとりまく情勢
は物価高騰により負担が増えています。

「生きにくい」社会の広がり、子育てに対する負
担。子どもに強い負担。小中高生の自殺はこの1
5年で4倍に増え、史上最悪になっています。
大阪市が

すすめていることは…

大阪府は、カジノ、IRを夢洲に誘致する計画を
すすめています。そして職員に対しては「職員基本
条例」「労使関係条例」により「思想調査」を実施
しました。大阪市の職員有志（保育士も多くしまし
た）がこの「思想調査」に対して「思想信条の自由」
を侵すものとして裁判を起こし、2016年3月
大阪高裁で大阪市の「思想調査」は「憲法違反であ
る」と画期的な判決が出ました。

自治体本来の役割を果たす

大阪市になることを願って

日本国憲法第15条第2項、すべての公務員は
全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではないと決
められています。市職場からの声、おかしいことは
「おかしい」と言える職場に。保育士は専門職、誇
りをもって働き続けられる給料、労働条件に。①子
ども達一人ひとりが大切にされる社会。②みんな
が笑顔で平和な社会。③みんなが安心して暮らせ
る社会。④みんなが誇りを持って働き続けられる
社会。あるべき姿をみんなで考えて声に出しまし
よう。
(学習会の内容を簡単にまとめました)

署名で訴えていることは 切実な要求

署名が始まるこの時期は保育園の保護者に、今の保育環境を知ってもらうチャンスだなと感じています。70年前から変わらない配置基準のことや、運営費は配置基準通りのお金しか降りてこないのに、実際には配置基準以上の職員が各クラスに配置される現状など。署名で訴えていることは本当に切実な要求です。発達保障や安全面においてもやっぱり今の職員配置では十分とはいえません。だからこそ、みんなで声を上げていきたいです。

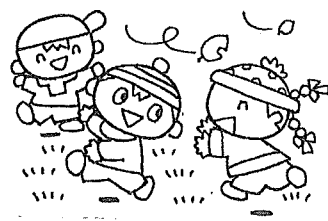
中央区あゆみ保育園保育士 吉野

子どもをあやしなが ら聞きました。

初めて Zoom の学習会に参加しました。途中から子どもがぐずって、あやしながら聞いたので、部分的な所しか覚えていないですが、印象に残っているのが保育士さん不足と賃金問題。1歳の子が居るので配置基準 4:1 にして欲しい。その2点は早急に改善して欲しいな思いました。

西淀川区よどっこ保育園
保護者

スワート 集会の感想



自治体の役割と署名活動について学習できました

始めに講師の仁木さんの平和への思いを聞いたのがすごく良かったです。共感と同時に自分も子どもたちと一緒に平和な世界を作っていけるよう沢山の大人・子どもと協力していこうと思いました。

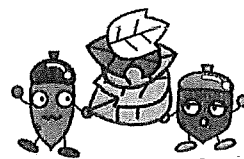
私たちをとりまく状況(物価高騰やコロナによる子どもに我慢・無理を強いている今)や地方自治体の役割、大阪市がやってきたこと(大阪市廃止の住民投票、科学的な検証なしのコロナ対策、カジノ誘致、保育士の賃金の民間に合わせた無理矢理の改定)を事実に基づき説明してもらい、その上で大阪府、市のリーダーが地方自治の役割を自分勝手に解釈し無茶な運営(乱用)をしているとあらためて分かりました。

今度の陳情署名を上げる時には講義で聞いた事実を自分の言葉で説明していくことが大切になると思います。参加していた住吉区の保護者からパワーポイントが分かりやすかったので、保護者会の担当者で共有し署名活動に活かしていこうと意見が出ました。講義で聞いたことを大切に署名に取り組んでいこうと思います。

後半の保育・学童の実態からの署名の意義についてもよくわかる内容でした。特に学童保育のことは分かっていないことも沢山あったので知る事ができて良かったです。

住吉区 遠里小野保育園 保護者 海道 智紀

今年は学童保育とも一緒にとりくむ署名活動です。
西成区では保育園での学習会や保育・学童保育合事務局会議を行い、とりくみを進めています。



みんなでとりくむ活動で希望が湧きます！

西成区は秋の大運動、署名活動を青空学童保育所・どんぐり保育園・どんぐり保育園分会・どんぐり保育園保護者会で取り組んでいます。

どんぐり保育園では11月4日(金)に署名学習会を行い、あまりのひどい現在の保育制度に、職員も保護者の方も驚き署名を取り組むきっかけとなりました。

「何年ぶり？」というくらい久しぶりに保育・学童合同署名事務局会議を開催しました。

「どうやって集める？」「目標は？」と具体的な提案がある中で、学童は街頭署名・保育園はお迎え署名・地域の団体にお願しよう！等決まりました。

目標はどんぐり保育園 5000人 学童保育所 1000人 となりました

みんなで一緒に取り組めることは本当に嬉しく希望が湧きます。☺

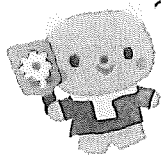
西成区どんぐり保育園保育士 西紗矢香



今年はずっと楽しく、ワクワクの 保育・子育てができる年にしましょう！

～保育者が増え、保育が充実することで保護者の安心につながります～

署名で声を自治体にとどけましょう！



《保護者から新年のめざすこと》

保育園で身につけた逞しさ

寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、私事ですが昨年長男が卒園しました。卒園生と離一人違う小学校で不安はありましたが、保育園で覚えたコマやけん玉を通して友達が増え、家でも自信たっぷり話しながらコマを見せてくれる息子がたくましく見えました。園で身につけたことが「子どもの自信につながるんだな」と感じ、頑張る姿を応援しあう友達や、最後まで支えてくださった先生方を思い出しました。コロナ禍でプールや運動会など屋外の活動制限が目につきやすいですが、園内の活動の大事さを改めて気づかされました。これからも続けていってほしい取り組みだと思えます。

他市と比べて低い保育水準

さて保護者の皆さん、日ごろ「保育園でこんなことをしてほしい」「もっと先生を増やしてほしい」など思ったことはありませんか。でもなかなか先生は増えませんよね。園の運営や先生の給料などは、国と各自治体からの補助金で賄われています。国の補助金が現場の実態に合っていない上に大阪市の単独補助金は他市と比べかなり低い水準です。そのため、大阪市は他市に比べさらに、先生を増やしたくても増やすことができません。この状況を改善させるために今、私たち保護者や市民の皆さんができることは、署名で声を自治体に届けることです。先生が増え、保育が充実することで、保育園へ預ける私たち保護者の安心につながります。ぜひ、身近な方へお声がけください。

今年も、市保連へのご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。皆様にとって良い一年でありますように。

大阪市保育運動連絡会 会長 中森 梨香子

昨年 保育、子育てをきっかけに

楽しかったこと

《保護者編》

用意されていたパジャマセット

11歳、7歳、4歳の子育て奮闘中です。いつもお風呂に入る前に子ども達のパジャマセットを用意して先に子ども達をお風呂から出すんですが、私が出る綺麗な畳まれた私のパジャマセットが用意されていて、「ママ早く服きいやく」って笑。嬉しく温かい気持ちになります。

淀川区 木川第2保育園 保護者 武田 美怜

友だちのような気持ちになるとき

自然の中で遊んでいる時が楽しいです。どうやって虫を捕まえようかと、季節の植物や生き物を観察している時が、私自身、童心に戻り、子どもの親であり、友だちのような気持ちになります。

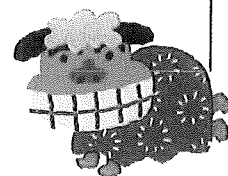
そんな1日の楽しかった事を話しながら眠りにつく事が幸せであり、楽しいと感じる瞬間です。

住吉区 遠里小野保育園 保護者 椋本 咲子

運動会と雪遊びが楽しい

運動会は、毎日の練習のことを娘から聞き、当日の頑張りを見れてどの取り組みもニコニコ楽しそうに参加している姿を見て成長を感じました。雪山遠足はコロナ禍で前のように園での子を直接見る機会が少なくなっている中、友だちと遊び楽しんでる姿を見ることができ、またソリ遊びや雪遊びを一緒に行うことができ、私にとっても、とても楽しい思い出になりました。

西淀川区 女ごっこ保育園 保護者 田畑 薫



「自分で遊べる」と主張する娘

7歳と4歳の娘2人と家族4人で山登りとみかん狩りにお泊りのお出かけをして楽しかったです。もちろん、駄々をこねたりと疲れることも多々ありましたが、2日間子ども達とガッツリ遊べて楽しかったです。普段はまだまだやってもらうことの多い4歳になったばかりの娘が「自分で剥く」と、なんと自分で皮を剥けるようになった姿を見て嬉しかったです。

平野区 末次保育園 保護者 田中 良

「ルールとジューズで乾杯

娘に新幹線の名前を付けた、脳性麻痺の父親です。娘を公園に連れて行くだけじゃなく、子どもと一緒に遊んでいます。ええ、バリバリ遊んでおります。砂場でバケツを発掘し、滑り台で尻もちつくのは数知れず。砂場を延々と掘って底まで突き当たり、娘と二人スマホで記念撮影したことも・・・笑

帰りの道は、ジューズとビールで乾杯です。

東住吉区 北田辺保育園 保護者 小西広一郎

《保育者編》

子どもたちが一緒にやり遂げた達成感

行事などの取り組みで子どもたちと一緒に楽しんで作ら上げてその時の達成感であったりやりがいを感じてくれることができた。子どもたちが保育園に来てキユーと抱きしめてくれたり毎日子ども達の笑顔を見ると嬉しく感じています。



住吉区 こへい保育園 保育士 鍵山 ななみ

子どもたちが喜んでくれるかな?

子ども達と夢中で追いかけてくれていると、心があたたかくなり、楽しくなります。昨日まで野菜を食へられなかった子が次の日食へられるようになった瞬間を見ると嬉しくなり、楽しい仕事だなあと思っています。こんなことすれば、子ども達が喜んでくれるんじゃないか・・・と考えている時間も、やっぱり楽しいです。

旭区 ありんこ保育園 保育士 中村 百雅

「自立」と「自律」に向けて成長

子どもに真摯に関われれば関わるほど、一人ひとりの子どもが信頼を寄せ、「成長」という形で喜びを与えてくれます。今年度は幼児クラスの担任になり、子ども達が「自立」と「自律」に向けて成長していく過程を間近で感じられます。そして、その姿が何より愛おしいと思います。

鶴見区 のぎく保育園 保育士 中西 伸恵

2歳児のつもり遊びにワクワク

子ども達はつもり遊びが大好きで、特にオオカミなどの対立物が出てきたときは、本心に楽しんでいます。「へへへ」の目まわしだらいいんちゃっ」「にちやめいばあやめいばあ」というおもしろいマイニヤを考える姿にはいつも感心しています。そんなことも達と一緒に「次はどつやよって登場しちゃうかな」と遊びの展開を考える時はワクワクし、楽しさを感じます。

浪速区 浪速さへらの保育園 保育士 三浦 静香

「初めて」を一緒に喜び合える

赤ちゃんだけでなくどの年齢でも「初めて」はあります。ハイハイでおっこがびきたとき、苦手なものを食へ



れたとき、友達と仲直りできたとき、竹馬がのれたとき、子どもの「嬉しいー」「やったー」の一番近へ一緒に「できたねー」「嬉しいね」と、喜びあえることが、何よりも嬉しくて楽しい瞬間です。

淀川区 木川第2保育園 保育士 衣川智美

《園長編》

大好きな瞬間

元気に園庭やピロティで走り回っている子どもたち。保育士も一緒に走って笑っています。時には子どもと顔を寄せ合って何やら楽しそうに内緒話。保育室では子どもがわいい仕草にメロメロになって笑いあっている。毎朝、保育園の門をくぐると思える風景ですが、私はこの瞬間が大好きです。

城東区 すみれ保育園 園長 野満 真由美

新しい保育所をスタートして

大阪市から民間委託を受け2年が過ぎようとしています。運動会や発表会等、職員みんなで相談したり、助け合いながら取り組んでいく姿が増えてきました。新しいことに挑戦して達成感を積み上げていく子ども達と同じように保育士も実践しながら育っていく姿を見ると新しい保育所をスタートして良かったと感じています。

西淀川区 大阪市立佃保育所園長 永谷 孝代

やっぴの保育は楽しい

今年度は0・1歳児の運動会を保育園の園庭で行う事を決めました。当日は近く子どもおらず、担任と楽しく遊ばました。子ども達がたくましく育っている姿と保育に感動しました。また、4歳児のオニごっこに入れてもらいドキドキワクワクを感じられて楽しかった。やっぱり、事務ではなく、保育がしたい。

西淀川区 やっぴこ保育園 園長 高橋 真澄

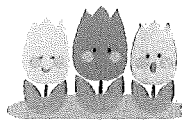


大阪市保育運動連絡会ニュース

大阪市中央区7丁目2-2-202

TEL 06-6763-4381 FAX 06-6763-3593

2023年4月 発行



ご入園・ご進級おめでとうございます。

保育園は何でも相談できる所、保護者や保育士に相談してね。

大阪市保育運動連絡会会長 中森 梨香子
(中央区 あゆみ保育園 保護者)

これから保育園へ通う保護者のみなさん、いまどんな気持ちですか。不安と期待、久々の仕事復帰で緊張している方もいるかもしれません。私は子どもが泣いたらどうしようとドキドキでした。そんな不安をよそに、長男は泣くこともなく目の前のおもちゃにまっしぐら。次男は部屋に入る前から不安顔で、先生に抱っこされるとギャン泣きでした。それでも、毎日通うたびに笑顔が増え、めいっぱい遊んでおいしい給食を食べ、友達と過ごせる保育園が大好きになり、なかなか帰らない姿もしばしばあります。昨年卒園した長男も保育園での思い出話をよくします。楽しく過ごせるのは、先生が安全に配慮して子どもたちを見守っていてくれるからだと思っています。

また、コロナ禍で入園前は交流も少なかったのではないのでしょうか。保育園では、先生や保護者と「子どもあるある」や育児の愚痴を話したり、発達やアレルギー相談をしたりと交流の場が増えます。私も相談することで育児にギブアップしそうになりかけていた心を取り戻しました。慌だしい毎日の連続で行き詰りそうになったら、身近な保護者や先生に相談してみてください。ちょっとしたことで誰かに話すことで気持ちがかわりますよ。

私たち市保連は、子どもが安心して過ごせるために先生を増やし、処遇の改善など保育を充実させる活動をしています。安全な保育運営ができれば、私たち保護者の安心につながります。みなさんの保育園生活をより充実するために一緒につくりあげていきましょう。

保育者と父母をつなぐ雑誌
月刊誌「ちいさいなかま」の紹介



「保育に悩んだ時に即、 役立つちいさいなかま」

日々、保育していく中で、子どもたちとの関わりやあそびなどの取り組みに悩むことも多々ありますが、「ちいさいなかま」にはあそびや発達についての連載や、他の保育園の保育実践など様々なことが掲載されているので、参考になることや学びになることがたくさんあります。

小さい冊子なので持ち運びもしやすく、いつでもどこでも読むことができるので、これからも困ったときや悩んだときには「ちいさいなかま」を読んで保育に活かしていき、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思います。

浪速区 浪速さくら保育園
保育士 戸塚実佑

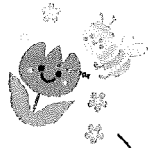
大人が繋がって 一緒にこどもを見守っていきましょう。

住之江区どろんこ保育園園長

山本 貴子

新年度が始まります！ 新しい生活がはじまりますね。
保育園生活がはじめての方は、きっと親子で不安がいっぱいの事と思います。
でも大丈夫。保育園には、保育士というプロ集団がいます。わからないことや心配な事があればいつでも何でも聞いてください。時には職場の愚痴も聞きますよ。
そして先輩ママ、パパもいます。私も昔々、こどものごはんで悩んでいるとき、先輩ママから、「こどもは、みそ汁とごはんで育つよ。ははは。」と声をかけてもらって、気負っていた気持ちが随分と軽くなったことを思い出します。

保育園では子どもたちが安心して生活を送り、おともだちと楽しい経験をいっぱいして、こども時代をこどもらしく過ごす大切な場所です。年長さんになって誇らしげに卒園していく姿を見るまでには、これからの一日一日が宝物となっていくことでしょう。昔からある言葉ですが、こどもを真ん中に大人同士も繋がって一緒に子どもたちを見守っていきましょうね。子どもたちが、夢や希望をもって大きくなれるように全力を尽くします。



第36回

大阪市保育運動連絡会総会のおしらせ

日時) 6月25日(日)
13時~16時30分

会場) あゆみ保育園

(会場参加とオンラインの併用)

2022年度活動報告と2023年度の運動方針について議論します。

★学習として

「どうなる大阪?

どうする大阪の子育て」

講師) 中山 徹 (奈良女子大)

「子どもたちの育ちのために議員さんと話し合いを続けることが大切」

コロナ禍でしばらくできていなかった市議会議員、府議会議員との懇談を学童保育の皆さんと力を合わせて取り組むことができました。私は初めての経験でした、率直な感想は「それぞれ対応が違い、話をしてみないと分からないことが沢山あるな」という印象でした。そもそも懇談をしてくれない議員さんいたり、「子育て支援充実」とを言っている会派の方でも、今以上の子育て支援は検討してくれなかったりと驚くこともありました。

議員さんといえども保育現場の状況がよく分かっていない人も多いので保育園・学童保育の実態を伝えていく必要があるなと思いました。

全てのこどもたちが健やかに育つためには大阪市の子ども施策の充実が必要です。そのために議員さんとも話し合いを続けることが大切だなと思いました。

住吉区 遠里小野保育園 保護者 海道 智紀

大阪市こども青少年局が

「ついでに」答えてくれる貴重な場に参加して

3月2日、大阪市こども青少年局と懇談を行いました。

大阪市は、①通園バスの事故後、バスを使用している全園へ直接行って安全確認を行った ②実地監査を年に1回は立ち入り監査を実施、立ち入り監査は今後も継続していく ③光熱費等物価高騰への補助は今の時点では大阪市の予算もなく補助をすることは考えていない、④公立保育所は令和12年度末までに35カ所にする「新再編整備計画」で決まっているので粛々と進めていく。などの話をしてくれました。

参加者が「コロナや地震などを経験して緊急時、災害時に公立保育施設が必要なのでは?」と質問すると、「市長が進めている計画なの担当課としては進めていきます」という姿勢でした。

大阪市は保育施設での死亡事故の経験から、こども青少年局の事務職の人数を増やしており、1年に1回の実地監査は、今後も続けていくつもりであると言われました。そのことは私たち保育関係者は歓迎しますが、「事務職の人数を増やしているのであれば、保育士不足に対しても予算を増やし対応してほしい」と意見と述べると「募集をかけても集まらない、今後募集を続けていく」との返答のみで、具体的な処遇改善については一切触れられませんでした。

懇談への参加者は保育連からよりもこども青少年局からの方が多く、保育連からの質問を受けて、担当課の人は丁寧に答えてくれ、私たちの意見を直接伝えられる貴重な場ではあると感じました。

自治労連大阪市福祉支部

※今回の懇談は、昨年取り組んだ

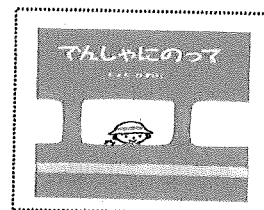
「秋の大運動 自治体キャラバン」の一環です。

「でんしゃにのって」

とよだ かずひ 作画

1歳児あひるぐみのこどもたちは、電車やバスなど乗り物が大好きです。この絵本は、うららちゃんと言う女の子が、電車に乗っておばあちゃんのところへ行くというお話で、途中でウサギやワニ、ソウなど色々な動物が乗ってくるところが、面白く、子どもたちも好きな場面です。「ガタンゴトン」というセリフも好きで、一緒に口ずさみながら体を揺らし、自分たちも、乗客になったつもりになって喜んで見えています。そして、電車ごっこをして遊ぶときにも、この絵本をみんなでイメージしながら窓際に並んで座り、「ガタンゴトン」と楽しんでいる子どもたちです。

子どもたちと楽しんでいる絵本です。
中央区あゆみ東保育園
保育士 柳井 陽子



子どものための予算を大幅に増やし保育士の増員など、保育・学童保育制度の抜本的改善を求める請願書

衆議院議長殿
参議院議長殿

年 月 日
紹介議員
請願代表者氏名
外 名

請願趣旨

保育・学童保育は、だれもが安心して子どもを産み育て働ける社会の実現にとって不可欠な社会資源であり、子どもたちの日々の暮らしと、成長発達を保障するための大切な施設です。コロナ禍によって、その重要性は広く社会的に認識されてきました。政府は、2023年度から「こども家庭庁」を創設し、社会の真ん中に子ども関連施策をすえて、その充実・推進を図るとし、予算を増増すると公言しています。それならば、いまこそ保育予算を大幅に増額し、遅れている保育所等の環境、条件の抜本的改善に踏み出すべきです。

この間政府は、保育士等の賃金について不十分な改善を進めています。保育士の増員を求める現場の声には、背を向けたままです。小学校では、40年ぶりに基準が改善され、全学年で35人を上限とする少人数学級が実現します。ところが、保育所の保育士配置基準は、久しく改善がなく、4・5歳児の基準（子ども30人に保育士1人）に至っては1948年の基準制定以降70年以上一度も改善されておらず、国際的にも低水準のまま放置されています。とりわけ、コロナ対応によりひっ迫した保育現場の状況を踏まえれば、改善は待たないでください。

少子化が加速し、地域によっては保育所の定員割れがおきており、公・私・私の保育施設の統廃合が取りざたされるようになってきました。しかし、依然として待機児童問題が深刻な地域があります。また、待機児童がないといわれる地域でも、保育を必要とするすべての子どもが、安全・安心で質の高い保育を指差なく受けられる状況ではありません。子どもの生活と発達する権利を保障するために、予算を増やし、すべての地域で保育・学童保育を維持し、さらに拡充させるべきです。

以上のことから、保育士の増員をはじめ、保育・学童保育の基準、施策の抜本的な改善を求め、請願します。

よりよい保育を！実行委員会

連絡先：全国保育園連絡会
〒162-0837 東京都新宿区戸部町26-3
TEL03-6265-3171 2022年度署名

取扱い団体

大阪府の責任で安心できる 保育・学童保育・子育て支援の実現を求める 請願書

大阪府議会議長 殿

紹介議員 別紙添付
請願代表者住所 大阪府中央区谷町7-2-2-202
氏名 以下 名

請願趣旨

保育所等・学童保育は、どんな時でも子どもの豊かな育ちと保護者の子育てを支援するために地域になくなくてはならないことが社会的に認識されています。

小学校では全学年で35人を上限とする少人数学級化が実現しています。しかし、保育所の保育士配置基準は久しく改善がなく、4・5歳児の基準（子ども30人に保育士1人）に至っては1948年の基準制定以降70年以上一度も改善されておらず、国際的にも低水準のまま放置されており、保育基準を改善することが急がれます。また、長年問題になっている、保育士不足も未だ解消されず、特にコロナ禍など緊急事態になると保育者が足りず安定的に保育を行う事が困難になっています。

学童保育でも指導員不足は深刻で、待機児童や児童数の大規模化が生じています。背景には、非正規・短時間職員のみで体制問題があり、正規・常勤職員配置化が必要とされています。

保育者・学童保育指導員は子どもの発達など専門的知識を学び、保育を組み立て保護者の子育ても支援する専門職です。その保育者が働き続けることによって保育の質が確保されます。専門職にふさわしい賃金水準に引き上げることが求められます。

政府は2023年度から「こども家庭庁」を創設し、社会の真ん中に子ども関連施策をすえて、その充実・推進を図るとし、予算を増増すると公言しています。今こそ大阪府行政の大府府も予算を増額し、大阪府内の保育・学童保育・子育て支援施策を拡充するよう、要望いたします。

取扱い団体

秋の大運動 大阪実行委員会
大阪府保育運動連絡会・大阪学童保育運動協議会・大阪自治体連（保育部会・指導員労務協議会）・全国福祉保育労働組合大阪府支部・社会福祉協議会
連絡先：大阪保育運動連絡会
〒542-0012大阪府中央区谷町7丁目2-2-202 TEL06-6763-4381

大阪市における保育所・学童保育所・子育て支援等の ゆたかな拡充を求める陳情署名

大阪府議会議員 様

住所 大阪府中央区谷町7-2-2-202
団体名
代表者名
他 名

陳情趣旨

子どもたちの豊かな発達を保障し、誰もが安心して子どもを産み育て、働き続けるために保育所等・学童保育所は大切な役割を果たしています。2年半を越えるコロナ禍において“社会を支える大切な施設”として改めて全国的に認知されました。

子どもたちの豊かな発達を保障する上で、保育士の配置基準はとても重要です。国基準では1歳児6人に対して保育士1人です。かつて大阪府は“この国基準では、子どもたちの発達を保障する安全な保育はできない”と考へ、4対1で保育士を配置してまいりました。私たちも4対1の基準でゆったり保育出来ることでより細やかな対応ができるようになり、子どもたちの発達保障につながると考えています。全国的にも保育士不足は言われていますが、特に大阪府では市独自の補助金が少ないために、保育士の給与も低く抑えられることになり、より保育士不足に拍車がかかっています。保育士が働く環境をよくすることは、子どもたちの発達保障につながります。

学童保育は、国の子ども子育て支援新制度（2015年）の開始にあたり、大阪府においても条例が定められ、制度は大きく前進しました。しかし、大阪市の放課後事業の中で学童保育の位置づけは、新制度前と変わらず「児童いさなき放課後事業の補充的役割」とされているため、他の政令市に比べ予算や補助項目において不十分な現状です。他の政令市同様に全児童対象と学童保育を放課後施策の同輪とした充実を求めます。

大阪府として安定的な財源を独自に確保し、子どもたちの健やかな育ちを保障すること願い、陳情します。

“秋の大運動”大阪市内実行委員会

取扱い団体

大阪府保育運動連絡会
大阪府学童保育運動協議会
大阪自治体連大阪府支部
全国福祉保育労働組合大阪府支部
大阪府学童保育指導員労働組合

陳情項目



1. すべての子どもたちがどんな状況でも必要な保育が受けられるように、保育所等・学童保育所への予算を増額して下さい。
2. 異常な物価高騰に対処できるよう、保育所等と学童保育所に補助して下さい。
3. 深刻な保育士不足の大阪市において、保育士の賃金と処遇が改善出来るよう市として補助して下さい。
4. 子どもたちの発達を保障するために、職員の配置基準と面談基準を改善して下さい。早急に1歳児の基準を4：1に引き上げて下さい。
5. 乳児の保育料の無償化、全年齢での給食費の無償化を実施して下さい。
6. 発達上困難を抱えている子どもや、個別の対応が必要な子どもに対する補助金を大幅に増額して下さい。
7. 公立施設が、緊急時・災害時において地域の子育て世帯を支えるセーフティネットの拠点になるよう、現在進められている公立保育施設削減計画を撤回して下さい。
8. 他市と比べ高額になっている学童保育の保育料等、保護者の負担軽減のための補助を創設して下さい。
9. 学童保育指導員のなり手不足を解消するために、国の「放課後児童支援員等処遇改善等事業」を大阪市でも予算化して下さい。
10. 今後、学童保育の利用を考えている保護者のために、保育所、保育園、幼稚園、小学校等での説明会やビデオの配布など、広報活動を支援して下さい。

氏名	住所

この署名用紙は厳重に保管し、集計後に大阪市会へ提出します。大阪市会の決議以外の目的に個人情報が使用されることはありません。

請願項目



- ① 子どもの安心安全を確保し、発達を保障するため、保育所等および学童保育の配置基準と面談基準を改善して下さい。
- ② 0・1・2歳児の保育料も無償にするとともに、給食費など保育に必要な費用が軽減されるよう補助して下さい。
- ③ 学童保育の保育料の減免制度を市町村が充実できるよう、補助して下さい。
- ④ 公立保育・学童保育施設が緊急時・災害時において地域の子育て世帯を支えるセーフティネットの役割が果たせるよう必要な対策と施設の増設築設費用を補助して下さい。
- ⑤ 保育所・学童保育等で働く職員に、専門職にふさわしい賃金水準が保障されるように補助して下さい。
- ⑥ 物価高騰に伴う光熱費や食料費の影響を軽減するため、保育所などの運営費負担に對して補助して下さい。
- ⑦ 学童保育のトイレ整備の遅れが深刻です。整備が促進されるよう補助して下さい。（学童保育専用トイレの設置、増設、洋式化、個室化、老朽化対応など）
- ⑧ 地域の子育て支援事業を拡充するため人件費・施設改修費などを補助して下さい。

氏名	住所

この署名用紙は厳重に保管し、集計後に提出します。府議会の決議以外の目的に個人情報が使用されることはありません。

請願事項



1. 子どもたちの命を守り、保育を充実させるために、子どものための予算を大幅に増やして下さい。
2. すべての子どもが必要な保育を受けられるように、国の責任で必要な措置を講じ、公立・私立を問わず保育施設を維持・拡充できるようにして下さい。
3. 保育・学童保育の職員配置基準・施設基準を、抜本的に改善して下さい。とりわけ、ひつ迫した保育現場に対処するために、施設単位で有資格者が増員できるように、国の責任で緊急に必要な措置を講じて下さい。
4. 保育・学童保育にかかわる公費負担を引き上げ、職員の賃金と処遇を抜本的に改善して下さい。
5. すべての子どもの保育料を無償にするとともに、給食費などの保育に必要な費用も無償化の対象にして下さい。

氏名	住所

*この署名用紙は厳重に保管し、集計後国会に提出します。国会決議以外の目的に個人情報が使用されることはありません。署名用紙の作成、国会への送達など、この運動は募金でまかされます。ぜひご協力ください。